令和３年９月３０日

６年生の保護者の皆様

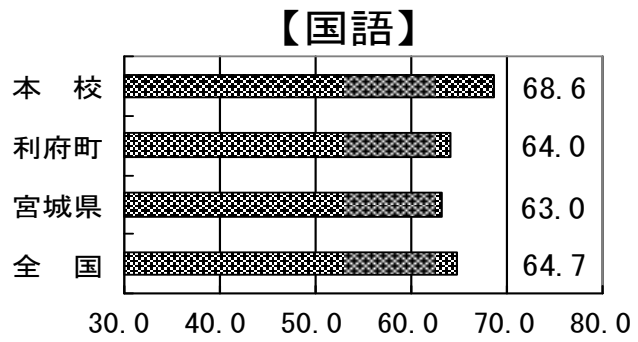
利府町立菅谷台小学校
校　長　　小野　久行

令和３年度　全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

５月２７日（木）に，全国の公立小学校に通う６年生を対象に，「全国学力・学習状況調査」が行われ，その結果が８月下旬に届きました。これに基づいて，この度，本校の児童の学習や生活の状況について，よさや課題をまとめましたので，お知らせいたします。なお，調査問題につきましては，文部科学省のホームページより閲覧することができます。

１　学力調査の結果

【国　語】（数値は平均正答率%）

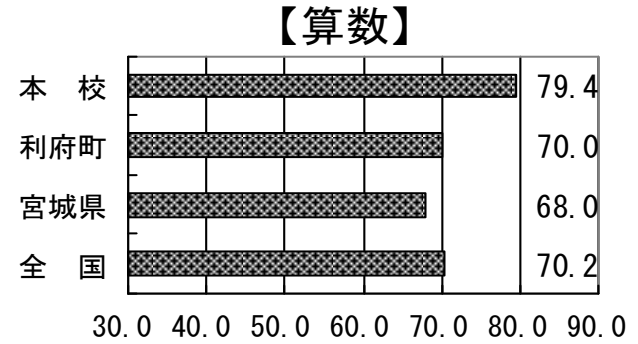


・国語については，全国の平均正答率を 3.9pt 上回っており，学習指導要領の内容である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」が確実に身に付いていることが分かります。
・内容別に見ていくと，「話すこと・聞くこと」では 4.1pt，「書くこと」では 10.0pt，「読むこと」では 2.8pt，「言葉の特徴や使い方に関する事項」では 2.0pt 上回るなど，全ての項目で全国の平均正答率を上回りました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して，◎よくできていた点　●課題としてあげられる点）

◎自分の主張が明確に伝わるように，文章全体の構成や展開を考える問題の正答率が高くなっていました。【問題番号：3の一】
◎資料を用いた目的を理解する問題や，目的に応じ，話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題の正答率が高くなっていました。【問題番号：1の一，1の二】
●学年漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題（「ころ（転）がって」「つみ（積み）重ね」）に課題が見られました。【問題番号：3の三(1)】

【算　数】（数値は平均正答率%）



・算数については，全国の平均正答率を 9.2pt 上回っており，学習指導要領の内容である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」が確実に身に付いていることが分かります。
・領域別に見ていくと，「Ａ 数と計算」では 11.9pt，「Ｂ 図形」では 14.6pt，「Ｃ 測定」では 7.1pt，「Ｄ 変化と関係」では 7.4pt，「Ｅ データの活用」では 5.7pt 上回るなど，全ての項目で全国の平均正答率を上回りました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して，◎よくできていた点）

◎三角形の面積の求め方を記述する問題や，複数の図形を組み合わせた平行四辺形について，図形を構成する要素などに着目し，図形の構成の仕方を捉えて，面積の求め方と答え方を記述する問題の正答率が高くなっていました。【問題番号：2の(1)，2の(3)】
◎小数を用いた倍についての説明を解釈し，ほかの数値の場合に適用して，基準量を１としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する問題の正答率が高くなっていました。【問題番号：4の(3)】
※全国平均正答率と比較した場合，課題として挙げられる点はありませんでした。

２　今後の取組について

【国　語】

○　「漢字の書き取り」の学習においては，熟語や短文作り等を取り入れながら，文章の意味に合った漢字を使えるように指導していきます。また，どの教科の学習においても既習の漢字を使って文章を書くように指導や声掛けを行い，理解の定着を図ります。

○　「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える」学習や「文の中における主語と述語との関係を捉える」学習など，言葉の特徴や使い方に関する事項の復習に取り組み，理解の定着を図ります。

【算　数】

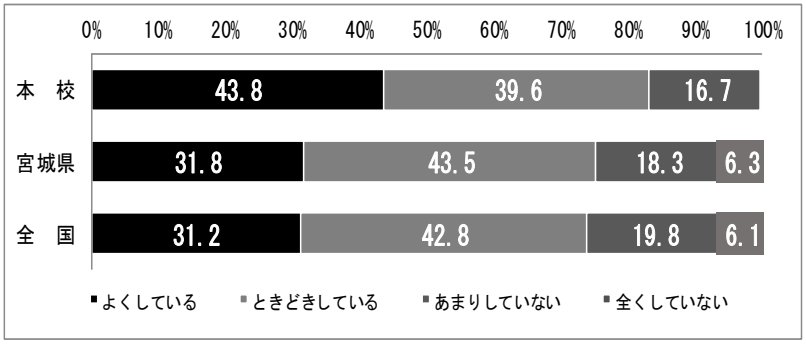
○　小学校６年間の学習内容の総復習や児童一人一人の学習状況に合った復習ができるような環境を整え，家庭学習やのびのびタイム（放課後補充学習）を活用しながら，理解のさらなる定着を図ります。

○　算数チャレンジ大会（宮城県教育委員会）のような思考を要する活用問題にも取り組む機会を設けることで，数学的な思考力・判断力・表現力等の伸長を図ります。

３　学習状況調査の結果

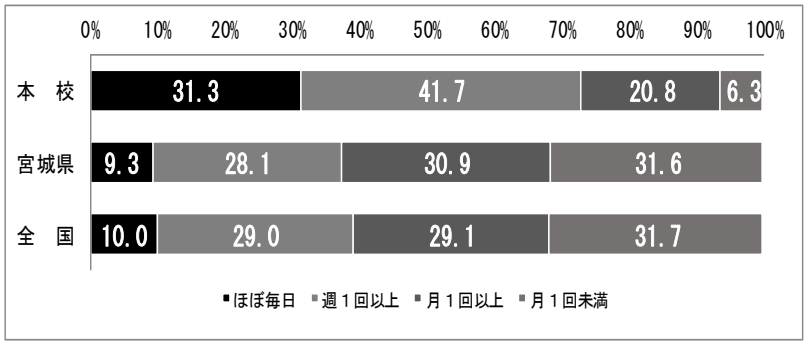
(1) よい傾向が見られる項目（数値は回答率%）

①　家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。



全国平均値に比べ，「よくしている」と回答している児童の割合が 12.6pt 高くなっています。家庭での学習時間が確保されていること，児童自身が学習の課題を設定しながら取り組んでいることが分かります。引き続き，「学年×10 分以上」を基本としながら，今後は，iPad を活用して取り組む課題も取り入れた家庭学習の充実を図っていきます。

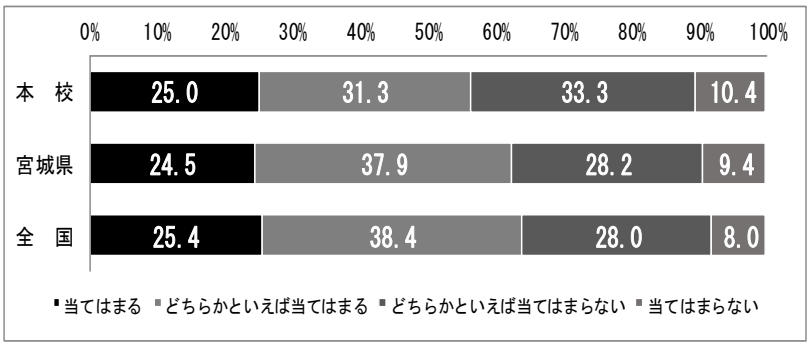
②　あなたは学校で，コンピュータなどの ICT 機器を，他の友達と意見を交換したり，調べたりするのに，どの程度使用していますか。



全国平均値に比べ，「ほぼ毎日」と回答している児童の割合が 21.3pt 高くなっています。児童一人に１台ずつの iPad が導入されてから，学習に積極的に活用してきたことが表れています。学習指導要領では，情報活用能力を「学習の基礎となる資質・能力」と定めています。引き続き，ICT 機器の効果的な活用の仕方を模索し活用を図っていきます。

(2) 改善が必要と思われる項目

①　国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。



全国平均値に比べ，「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している児童の割合の合計が 7.5pt 低くなっています。感染症対策を行いながら学習を行ってきたため，自分の考えを話したり友達と伝え合ったりする機会が減ったことが要因の１つとして考えられます。今後は，考えを交流することができる iPad のアプリも活用しながら改善を図っていきます。